

長期入所児に関するアンケート調査 －抜粋－

全国肢体不自由児施設運営協議会

全国の肢体不自由児施設に、長期入所者（概ね3年以上）についてのアンケート調査を実施した。

調査対象 59施設、返送数 59（100.0%）、うち13施設は該当者なし
対象ケース 500

1. 対象児者について

1) 大島分類と超重症児スコア及び手帳所持

大島分類

1－102名（20.4%）／2－59名（11.8%）／3－24名（4.8%）／4－21名（4.2%）
／5－26名（5.2%）／6－16名（3.2%）／7－13名（2.6%）／8－27名（5.4%）
／9－14名（2.8%）／10－12名（2.4%）／11－5名（1.0%）／12－2名（0.4%）
／13－なし／14－23名（4.6%）／15－20名（4.0%）／16－9名（1.8%）／17－
7名（1.4%）／18－4名（0.8%）／19－3名（0.6%）／20－8名（1.6%）／21－
3名（0.6%）／22－7名（1.4%）／23－23名（4.6%）／24－10名（2.0%）／25
－2名（0.4%）／NA－60名（12.0%）

計 500名（100.0%）

1～4－206名（41.2%）／5～9－96名（19.2%）／
10以上－138名（27.6%）／NA－60名（12.0%）

計 500名（100.0%）

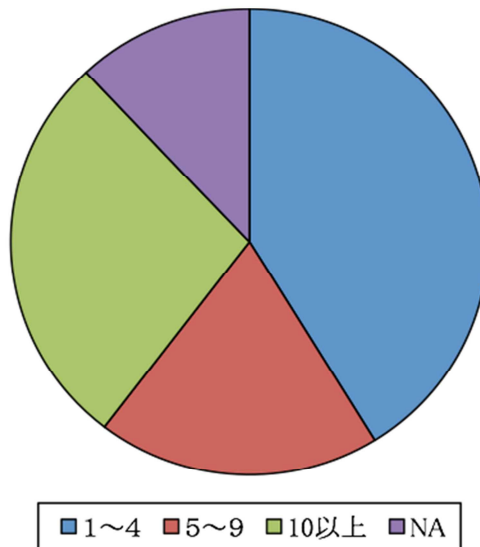


図1 大島分類

超重症児スコア

0-99名(19.8%) / 1-2名(0.4%) / 2-5名(1.0%) / 3-16名(3.2%) /
4-3名(0.6%) / 5-34名(6.8%) / 6-9名(1.8%) / 7-なし / 8-17名(3.4%)
/ 9-1名(0.2%) / 10-2名(0.4%) / 11-5名(1.0%) / 12-1名(0.2%)
/ 13-4名(0.8%) / 14-3名(0.6%) / 15-なし / 16-1名(0.2%) / 17-1
名(0.2%) / 18-なし / 19-1名(0.2%) / 20-なし / 21-なし / 22-1名(0.2%)
/ 23-なし / 24-3名(0.6%) / 25-1名(0.2%) / 26-1名(0.2%) / 27-1
名(0.2%) / 28-なし / 29-なし / 30-なし / 31-なし / 32-2名(0.4%) / 33
-なし / 34-4名(0.8%) / 35-なし / 36-なし / 37-1名(0.2%) / 38-なし
/ 39-1名(0.2%) / NA 281名(56.2%)

計 500名(100.0%)

0～9：186名、15～24：16名、25以上：10名

身障手帳の所持

あり 1級-367名(73.4%) / 2級-89名(17.8%) / 3級-7名(1.4%) / 4
級-4名(0.8%) / 5級-1名(0.2%) / 6級-1名(0.2%)、手帳なし及び手帳
は所持しているが級不明を含むNA-31名(6.2%)

計 500名(100.0%)

1、2級：456名(91.2%)

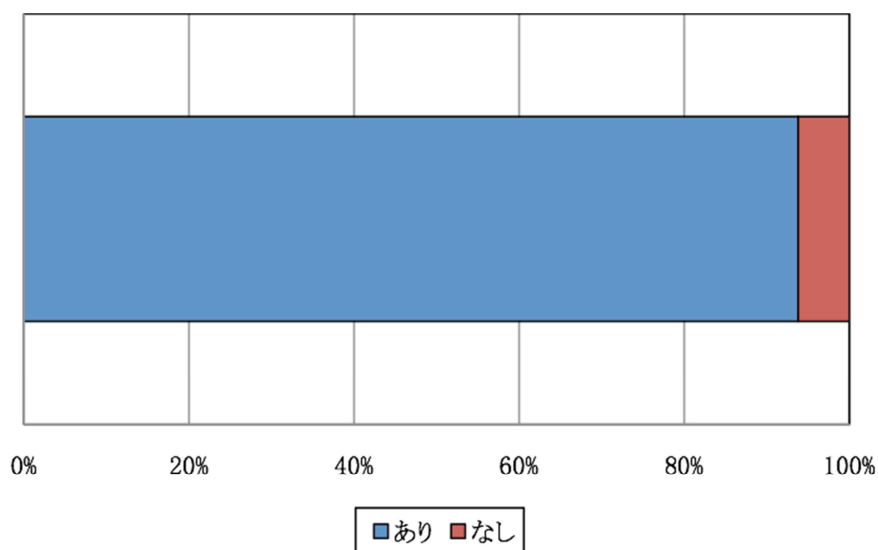


図2 身障手帳の有無

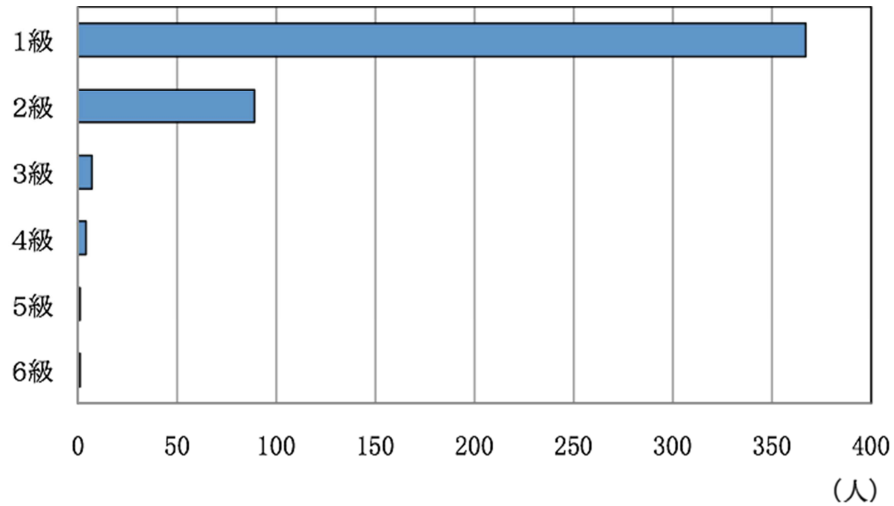


図3 身障手帳の等級

療育手帳の所持

あり－322名（64.4％）／なし－178名（35.6％） 計500名（100.0％）
ただし、各都道府県ごとに障害程度の表し方が違うため（例：A度・2度・軽度）、比較できず。および手帳所持しているが度不明もあり、分類できず。

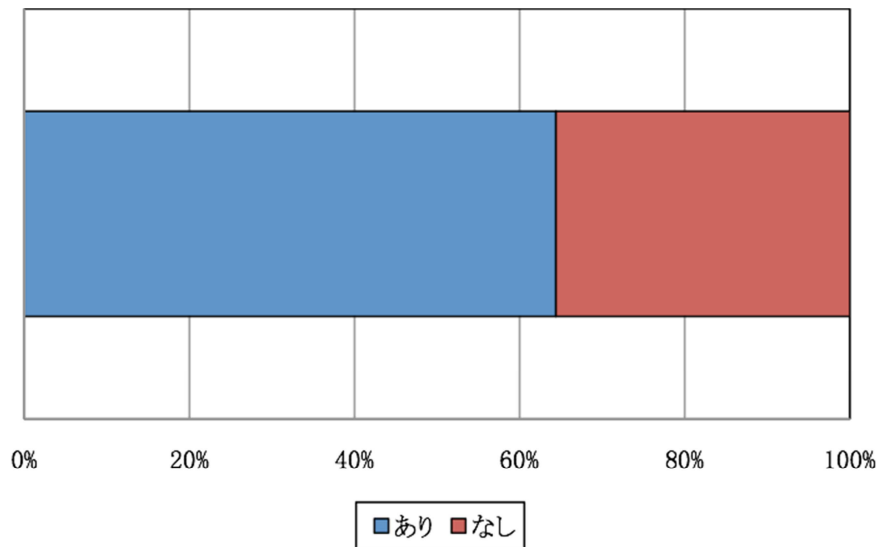


図4 療育手帳の有無

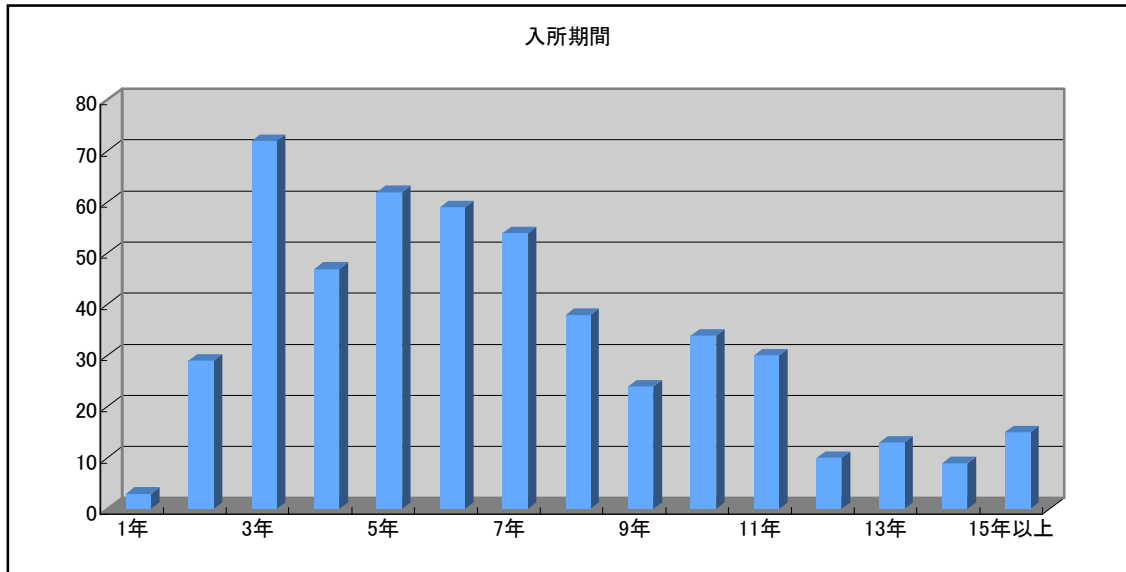


図6 入所期間別人数

3) 基礎疾患、障害（主となる診断名）

基礎疾患を複数選んだ方もいたため、以下の通りであった。

- 1.脳性麻痺－308名／2.先天性疾患－69名／3.頭部外傷後遺症－15名／4.頭蓋内感染症（急性脳症含む）後遺症－17名／5.先天性四肢奇形－2名／6.二分脊椎－22名／7.知的障害－66名／8.染色体異常－10名／9.なし－0名／10.その他（発達障害など）－82名（これらは、全体の入所児比率にほぼ同じと考えられる）

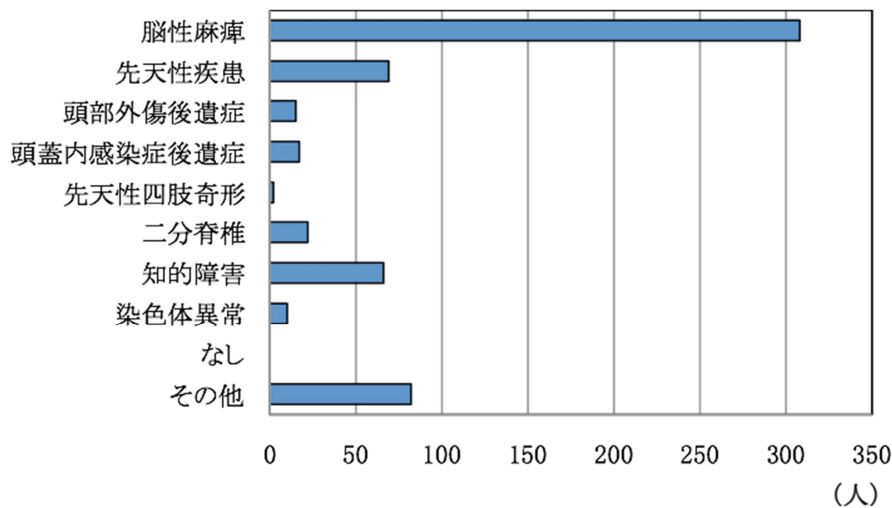


図8 基礎疾患、障害

5) 合併症

てんかんの有無

1.あり－114名（22.8%）／2.なし－190名（38.0%）／3.薬でコントロールされている－125名（30.4%）／NA－71名（14.2%）

計 500名（100.0%）

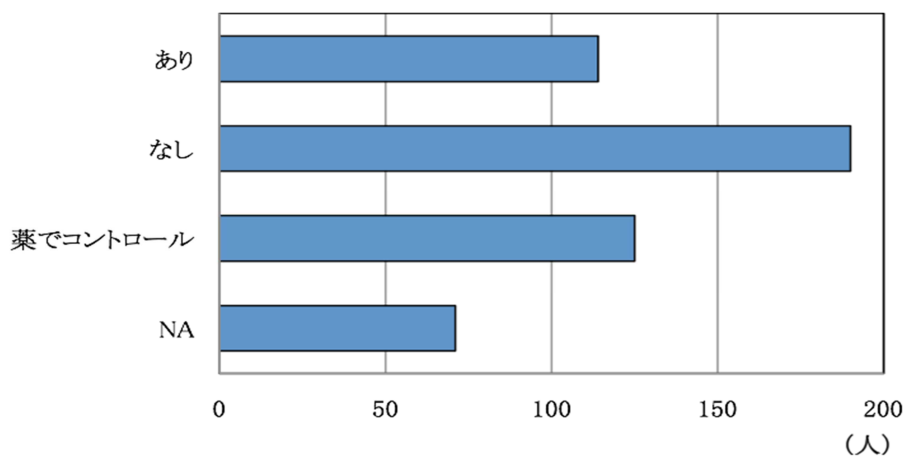


図8 てんかんの有無

「あり」と薬でコントロールとを合わせると53%と半数を超える。

感覚障害等の有無

1.全盲－17名、2.難聴－11名、3.心臓などの内臓疾患－16名、4.その他－24名

その他回答として、

水頭症－2名、視覚障害疑い－2名、視力障害、血小板減少症、気管切開術後、気管支肺異形成、足の感覚がない、川崎病、膀胱直腸障害、感覚統合障害、未熟児網膜症、先天性白内障（以上12疾患）

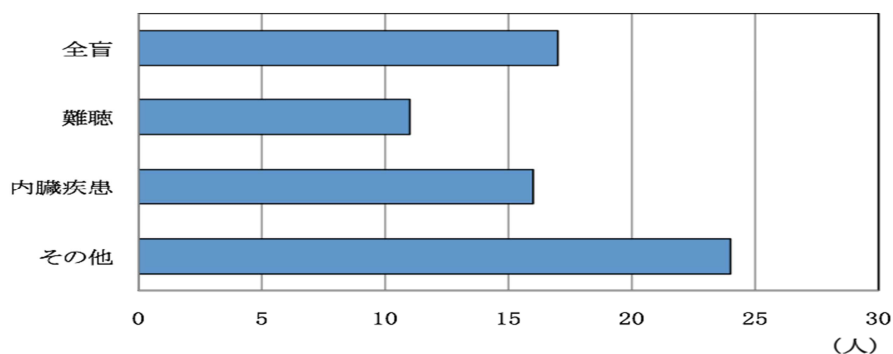


図9 感覚障害等の有無

合併症のその他回答として、
 神経因性膀胱、不安定性膀胱、高度側弯症、VPシャント術後、嚥下障害等、視力障害、自閉症、統合失調症、中枢性尿崩症、知覚過敏、鎖肛（以上11疾患）

6) 入所理由（複数可）

入所理由

社会的入所－383名（1.親の問題－193名（50.4%）、2.家庭の経済的理由－73名（19.1%）、3.社会資源不足－80名（20.9%）、4.その他－37名（9.7%）、本人の疾患への治療・訓練－394名、NA－9名であった。

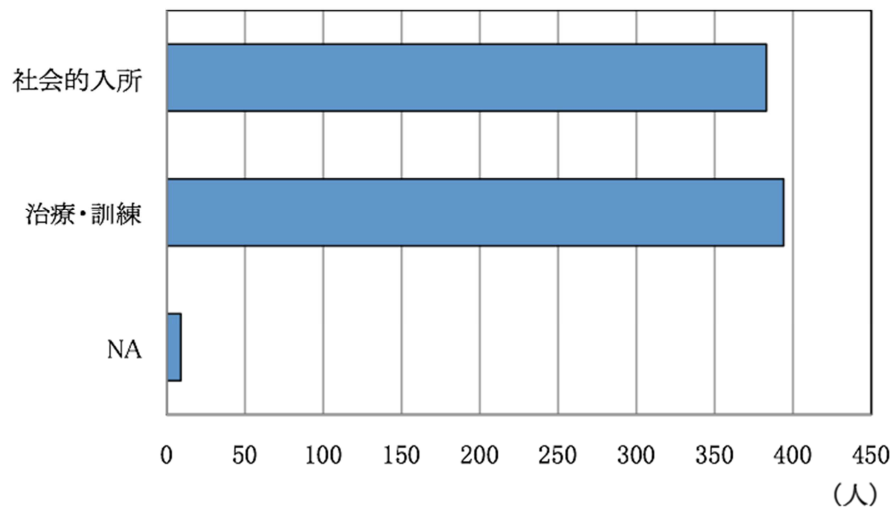


図 10 入所理由

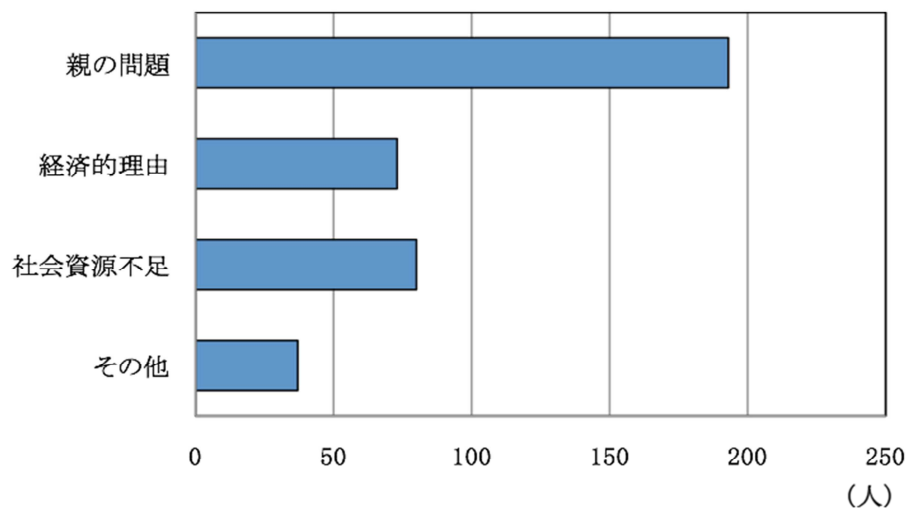


図 1 1 社会的入所

社会的入所のその他回答として、

- ・人工呼吸器使用となる呼吸不全をくり返していた
- ・高等部進学のため
- ・自宅からの通学困難な為

本人の疾患への治療・訓練のその他回答として、

- ・入所療育により心身の発達を促すため、理学療法等の機能訓練
- ・集団生活による全般的発達促進
- ・機能訓練（OT・PT・ST）
- ・医療管理（てんかんコントロール等）
- ・運動機能の向上と言語療法による心身発達向上の期待
- ・OT・PT・STにより機能回復

7) 入所の種類

入所の種類

1.措置入院－88名（17.6%）／2.契約入院－403名（80.6%）／3.一般保険入院－なし／4.その他－なし／NA－9名（1.8%）

その他の回答として、

- ・下肢機能及び排泄訓練の要あり

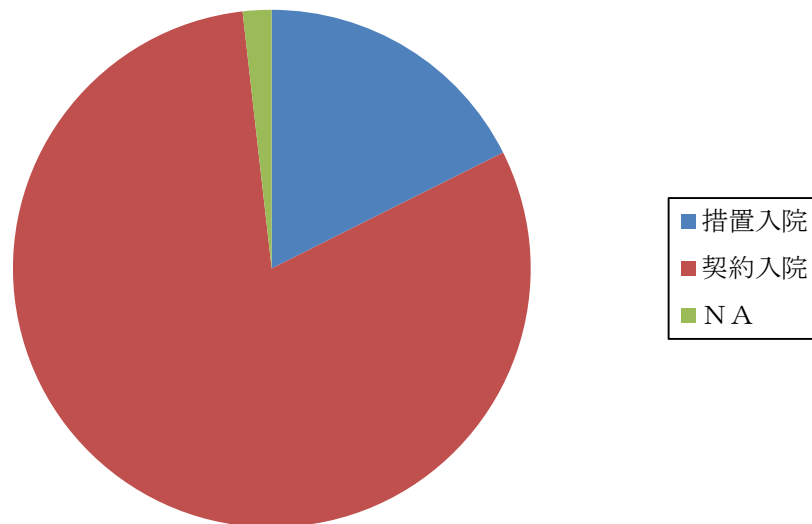


図 1 2 入所の種類

2. 保護者・家族について

8) 家庭状況

A.両親世帯－276名（55.2%）／B.母子家庭－129名（25.8%）／C.父子家庭－73名（14.6%）／D.両親なし－15名（3.0%）／E.不明－1名（0.2%）／NA－6名（1.2%）
計 500名（100.0%）

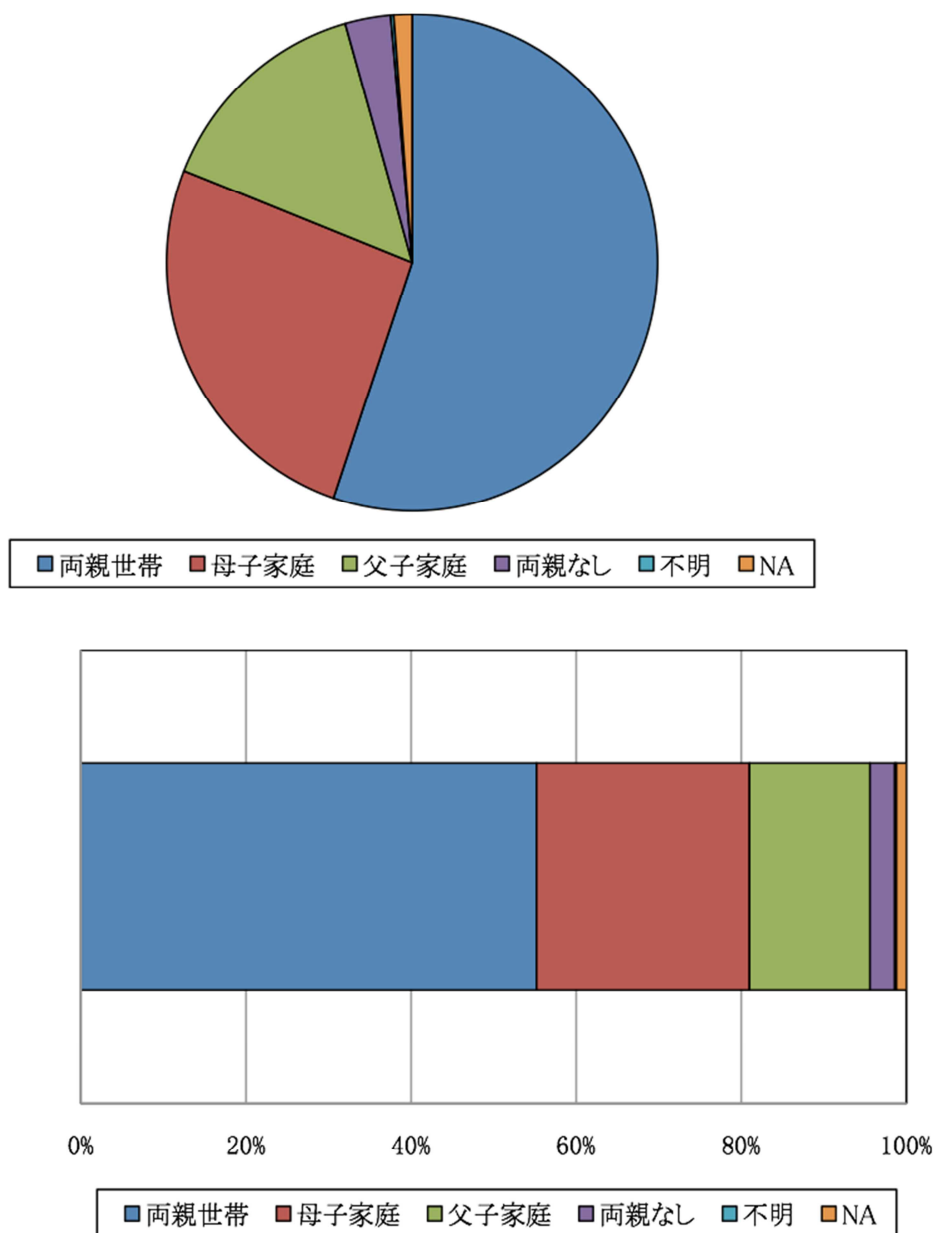


図 1 4 家庭状況

A.両親世帯の中で、1.実両親世帯－245名（88.8%）、2.実母＋継父－22名（8.0%）、
継母＋実父－9名（3.3%）であり、関係については1.良好、2.不和、3.家庭内暴力、
4.不明の選択肢があったが、関連性は不明？？

その他回答として、
・父服役中

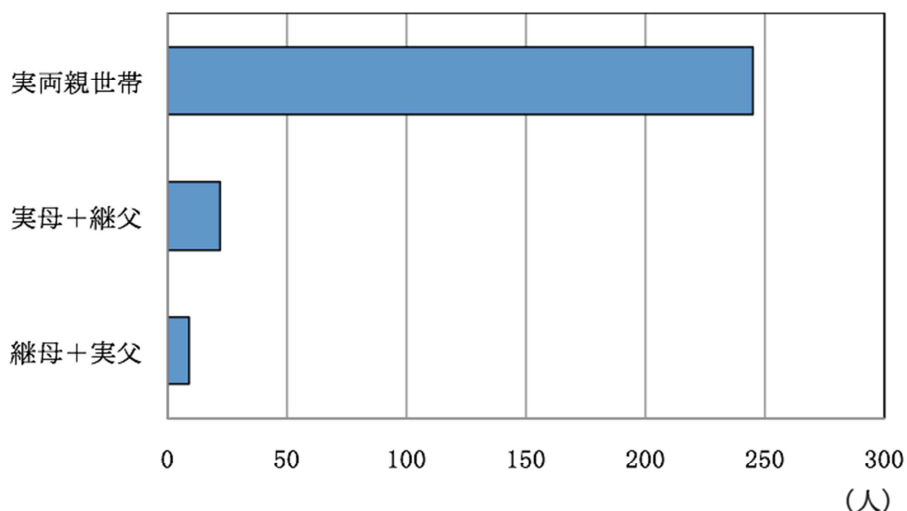


図 1 5 両親世帯

B.母子家庭の中で、1.離婚、2.死別、3.生別、4.行方不明の選択肢があったが、5.その他回答として、

- ・入所後、両親離婚。児童のために父母は同居。別居の時期もある。
- ・入所中に母子家庭となる。
- ・行方不明（父）

D.両親なしの中で 1.祖父、2.祖母、3.その他の家族（親戚、同居人）の選択肢があったが、その他回答として、

- ・祖父+祖母-3名、
- ・兄夫婦

E.不明の中でその他回答として、

- ・祖父母と養子縁組している。養父は既に死亡している。

9) 実親の離婚歴

母親については、1.あり-147名 (29.4%) / 2.なし-224名 (44.8%) / 3.不明-90名 (18.0%) / NA-39名 (7.8%)

計 500名 (100.0%)

離婚回数についてはさまざまであるが、その他回答として、

- ・入所後離婚-4名

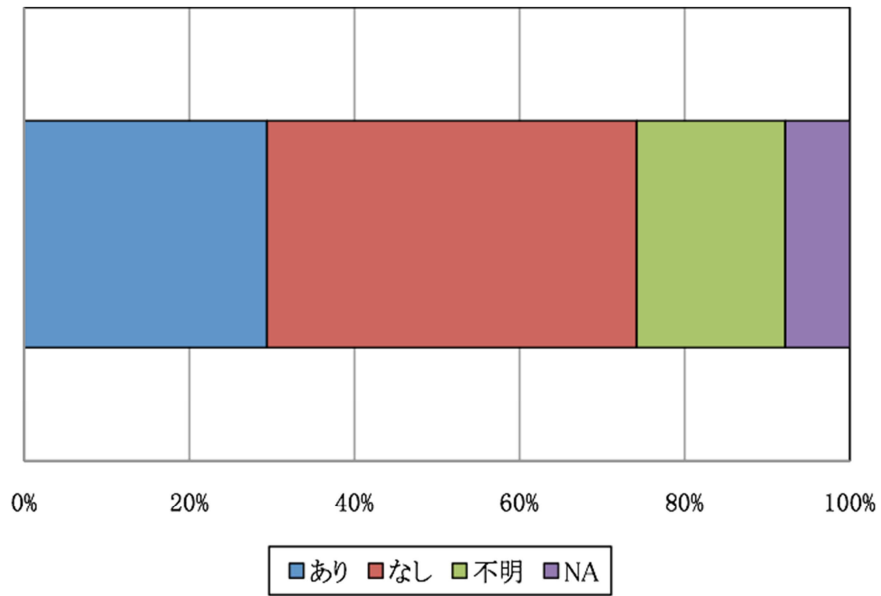


図 1 6 母親の離婚歴

父親については、1.あり－96名（19.2％）／2.なし－219名（43.8％）／3.不明－118名（23.6％）／NA－67名（13.4％）

計 500名（100.0％）

離婚回数についてはさまざまであるが、その他回答として、

- ・入所後離婚－3名

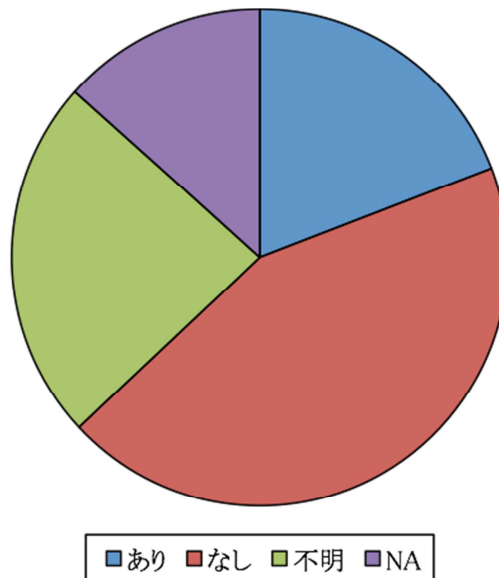


図 1 7 父親の離婚歴

11) 養育者の問題

養育者の問題

1.精神的疾患－48名、2.運動器障害－4名、3.アルコール中毒－3名、4.知能の問題－18名、5.悪性腫瘍－7名、6.慢性疾患－9名、7.高齢－12名、8.薬物濫用－1名、9.性格の問題－24名、10.生育歴の問題－5名、11.その他－51名、NA－348名

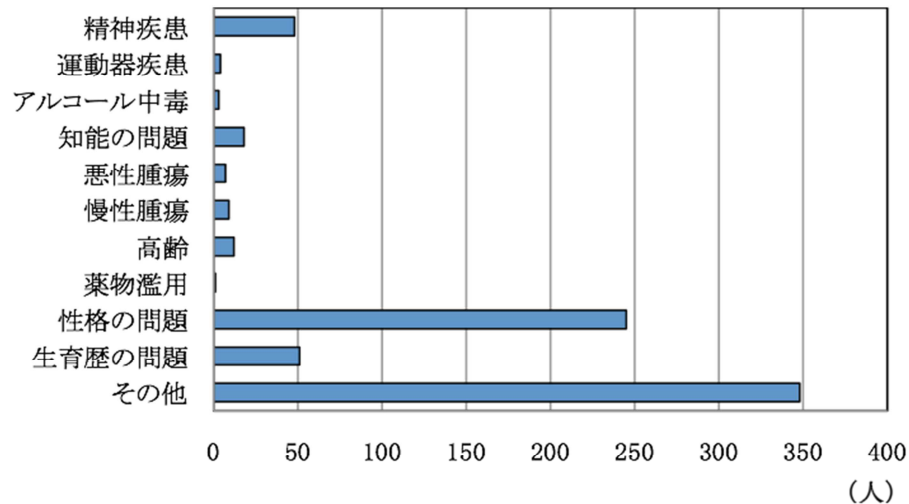


図19 養育者の問題

1.精神的疾患のうち、うつ病－10名（20.8%）／うつ状態－21名（43.8%）／統合失調症－7名（14.6%）／人格障害－なし／ヒステリー－2名（4.2%）／NA－8名（16.7%）

その他の回答として

- ・パニック障害

4.知能の問題のうち、最重度－1名（5.5%）／重度－2名（11.1%）／軽度－3名（16.7%）、境界－8名（44.4%）／NA－4（22.2%）

7.高齢のその他回答として、

- ・祖母が主な養育者
- ・父方の祖母が主に養育している

9.性格の問題のその他として、

- ・ネグレクト

11.その他の回答として、

- ・病身であるとの訴えはあるが、定かではない。
- ・育児意欲の低下

- ・育児不安
- ・母親が外国の出身。
- ・かたくなな言動がある。
- ・諸手続は父親が行っているが、就労のため、なかなか連絡がとれない。
- ・時として、引きこもり状態になることはあるが、疾患名なし。
- ・特になし。同居する祖父母の体力低下。
- ・未熟さ。
- ・脳梗塞後遺症。
- ・フィリピン国籍。
- ・父の自殺。
- ・母 脳梗塞後遺症のため寝たきり状態。
- ・母が外国人、父と母は別居。父は養育にかかわっていない。
- ・母、養父共に精神科通院中。
- ・本児が幼少期に過度なしつけによる虐待あり。
- ・不安神経症
- ・母…筋緊張性ジストロフィー
- ・腰痛、ヘルニア
- ・父がC型肝炎
- ・母…在宅にて寝たきり
- ・てんかん
- ・母…精神不安定な時あり
- ・精神科受診歴あり、精神的に不安定。
- ・母：小2の時脳挫傷 てんかんあり（坑けい剤内服中）
- ・外国籍のため日本語の読み書き・コミュニケーションが十分にできない。居住地
が安定しない。入所中に父親が服役した。
- ・母 刑務所（受刑中）
- ・膠原病 etc.
- ・視覚障害。
- ・父子家庭、介護できない。
- ・主として養育介助していた祖母の体力限界。
- ・韓国で生活をしている。
- ・仕事の都合と無関心。
- ・父子家庭。
- ・母親は責任を感じ、1人で面会にこられない。父親は本児をみるのが辛いと面会
に来ない。
- ・療育に対して父親が協力的でない。
- ・主に祖母が養育にかかわっている。
- ・主に祖父母が養育している。
- ・母親は父親からDVを受けている。その都度、家出。
- ・母親は韓国在住。祖父母が養育している。
- ・聴覚障害者（両親）。
- ・母の本児の障害に対する嫌悪等
- ・父は入院中（意識障がいあり）
- ・パニック障害

14) 経済的問題

1.経済的不安定－133名、2.夫婦不和・不安定－26名、3.他の家族との葛藤（嫁・姑の問題など）－12名、4.育児負担過大－56名、5.孤立した家庭－27名、6.その他－14名（以上、複数回答あり）、NA－286名であった。

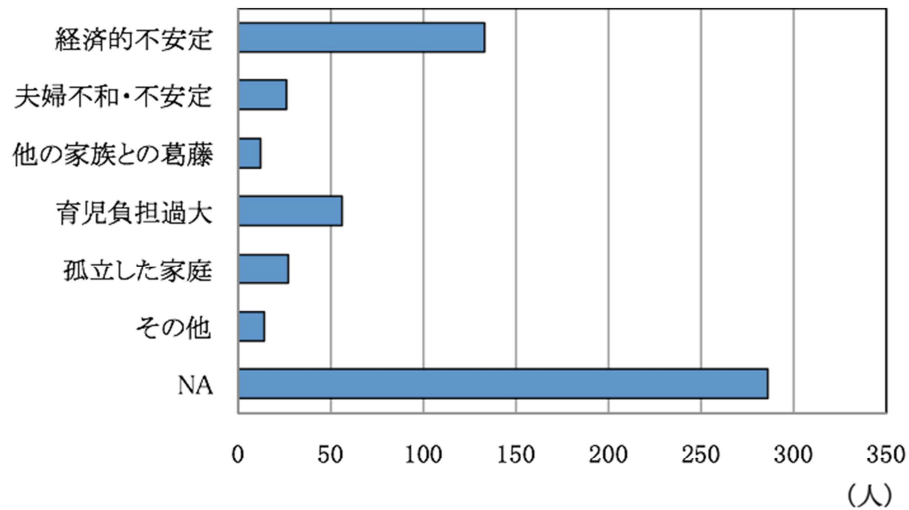


図20 経済的問題

1.経済的不安定の内訳として、生保－34名（25.6%）／ボーダー－38名（28.6%）／借金－4名（3.0%）／倒産－1名（0.7%）／失業－6名（4.5%）／その他－11名（8.3%）、NA－39名（29.3%）

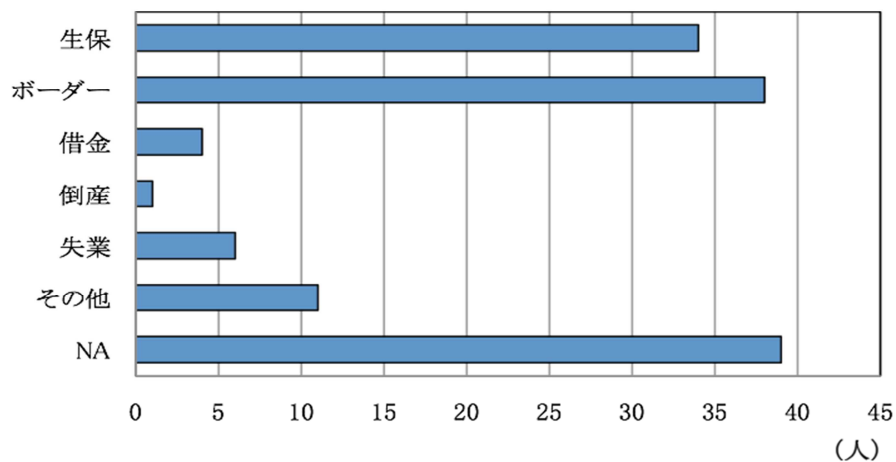


図21 経済的不安定

1. 経済的不安定のその他回答として、
 - ・ 転職
2. 夫婦不和・不安定のその他回答として、
 - ・ 別居中。
 - ・ 夫婦不和は最近のことで、主要因ではありません。
4. 育児負担過大のその他回答として、
 - ・ 6人兄弟
6. その他回答として、
 - ・ 妹もダンディウオーカー症候群
 - ・ 父の状況不明、祖父母協力的。
 - ・ 婚外子。
 - ・ 父子家庭。
 - ・ 家族の介護。
 - ・ 母は水商売をしている。不安定と思われる。
 - ・ 祖母の介護、未婚。
 - ・ 兄弟が多く（4人）、父親1人が働いている。
 - ・ 母親が会社を経営していて倒産しそうということで子どもを預けられました。その後、倒産し、離婚もされ、現在は父子家庭です。
 - ・ 母子家庭。母一人子一人、協力者いない。

13) 社会資源等の問題

社会資源等の問題

1. 就学－139名、2. 療育－160名、3. 医療・リハビリ－111名、4. 登校拒否－2名、5. その他－12名（以上、複数回答）、NA－291名

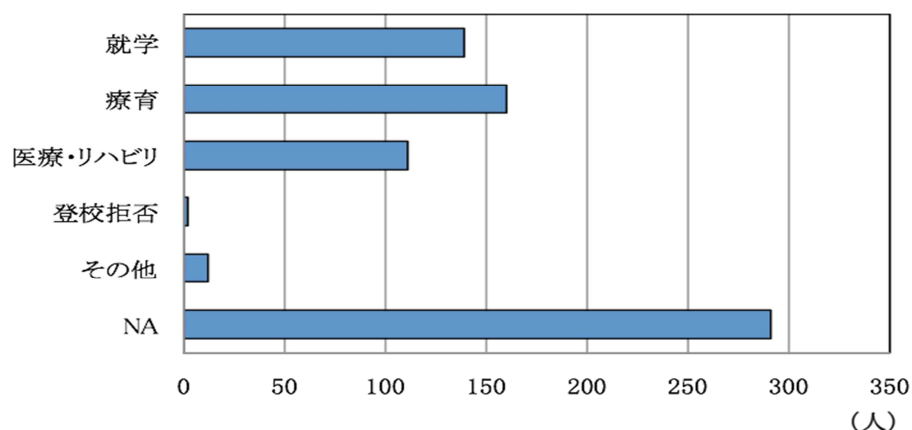


図 2 2 社会資源等の問題

5.その他回答として、

- ・家庭養育が困難。資源を使う以前の問題。
- ・家族の自立。
- ・父、県外へ転勤予定あり。
- ・仕事中見てくれる
- ・父子家庭で、父親が交代制の仕事をしており、利用できる社会資源が少ない。

3. 貴施設での対応について（入所まで）

15) 入所までに連携した機関、入所経路（複数可）

連携した機関として、1.保健所－5名、2.保健センター－4名、3.助産所－0名、4.医療機関－133名、5.精神保健福祉センター－0名、6.学校・幼稚園－42名、7.教育相談室－1名、8.保育所－4名、9.児童館－0名、10.学童保育－0名、11.児童相談所－449名、12.福祉事務所（家庭児童相談室）－12名、13.婦人相談所－0名、14.民生・児童委員－1名、15.区市町村担当部局－31名、16.児童家庭支援センター－2名、17.乳児院・児童養護施設－23名、18.障害児施設－42名、19.母子生活支援施設－1名、20.警察－0名、21.少年センター（警察管轄）－0名、22.市町村少年相談センター－0名、23.人権擁護委員－0名、24.家庭裁判所－1名、25.児童自立支援施設－0名、26.弁護士－0名、27.虐待防止民間援助機関－0名、28.その他－19名、29.連携機関なし－16名、NA－0名

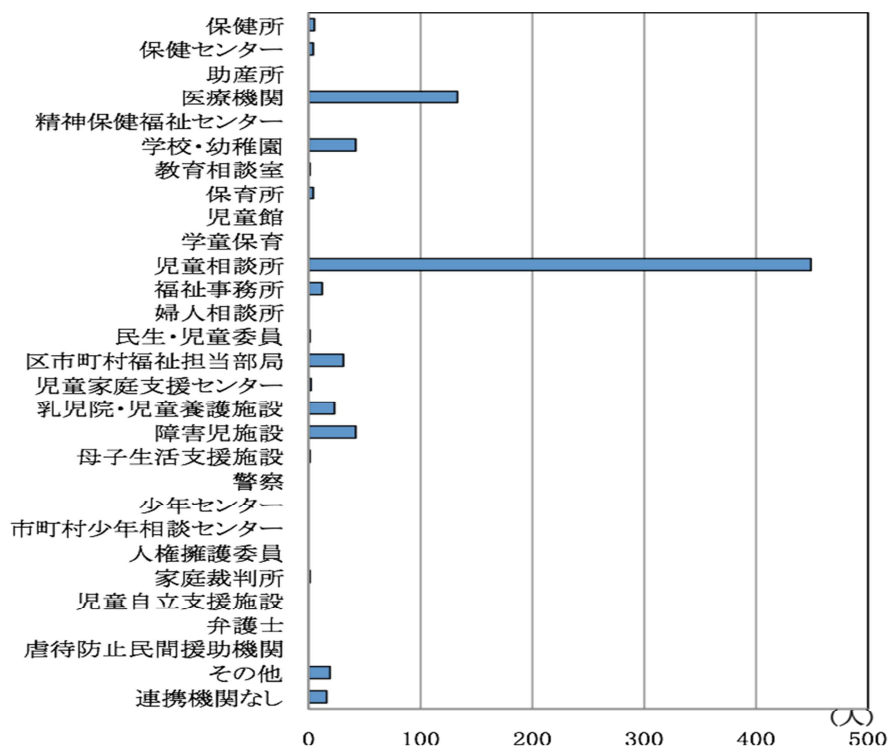


図 2 3 入所までに連携した期間、入所経路

4. 退所・地域移行に向けての貴施設での対応について

15) 入所後に連携した機関（複数可）

入所後に連携した機関

1. 保健所－3名、2.保健センター－5名、3.助産所－0名、4.医療機関－81名、5.精神保健福祉センター－1名、6.学校・幼稚園－252名、7.教育相談室－0名、8.保育所－1名、9.児童館－0名、10.学童保育－1名、11.児童相談所－346名、12.福祉事務所（家庭児童相談室）－22名、13.婦人相談所－0名、14.民生・児童委員－2名、15.区市町村担当部局－118名、16.児童家庭支援センター－0名、17.乳児院・児童養護施設－1名、18.障害児施設－16名、19.母子生活支援施設－1名、20.警察－0名、21.少年センター（警察管轄）－0名、22.市町村少年相談センター－0名、23.人権擁護委員－0名、24.家庭裁判所－0名、25.児童自立支援施設－0名、26.弁護士－0名、27.虐待防止民間援助機関－0名、28.その他－12名、連携機関なし－37名、NA－23名

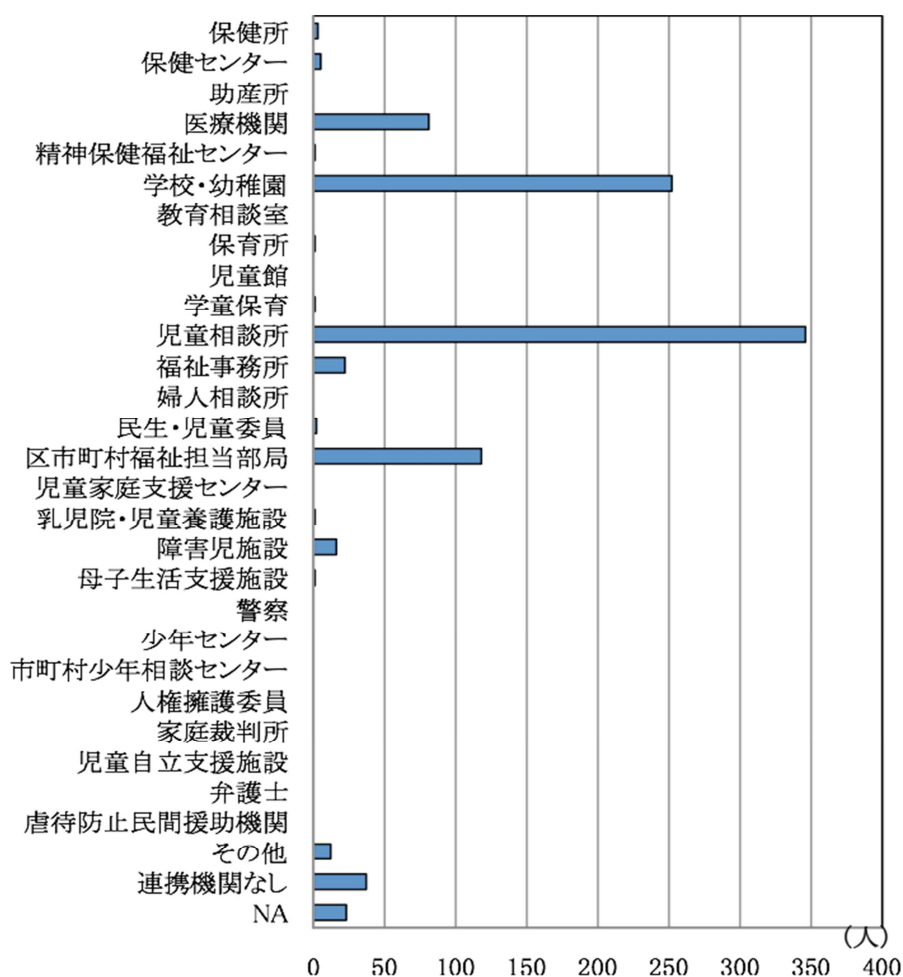


図 2 4 入所後に連携した機関

5. 今後の予定について

1 7) 今後の退所の見通しについて

退所の見通しについて

1.退所に向け準備を進めている（施設転出手続きの有無）－185名（37.0％）／2.退所の見通しはない－306名（61.2％）／NA－9名（1.8％）

計 500名（100.0％）

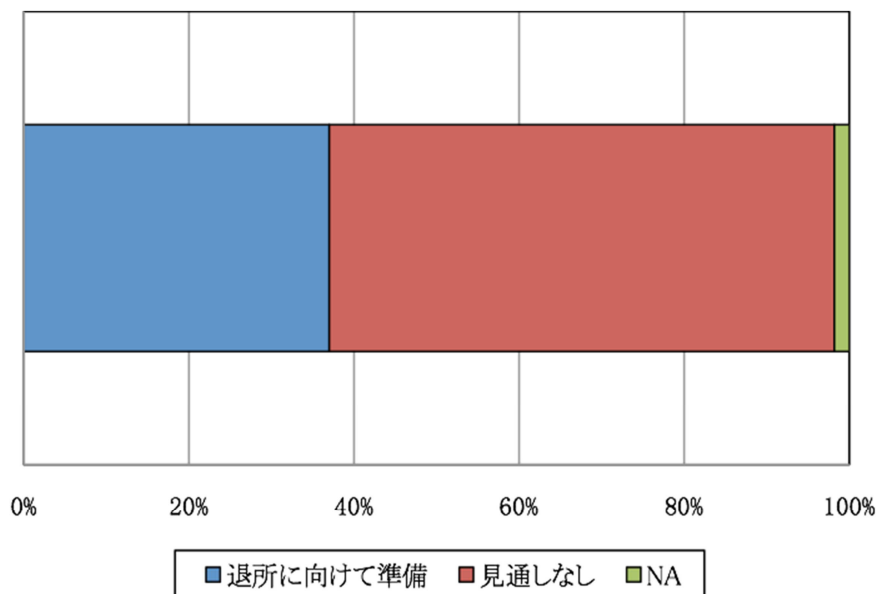


図 2 5 今後の見通しについて

1.退所に向け準備を進めているうち、退所予定先は、1.保護者宅－46名、2.親類宅－0名、3.里親－0名、4.他施設－122名（うち、1.重症心身障害児施設－50名、2.障害者入所施設－47名、3.グループホーム－3名、4.その他－17名）、5.医療機関－0名、6.その他（自立生活など）－1名

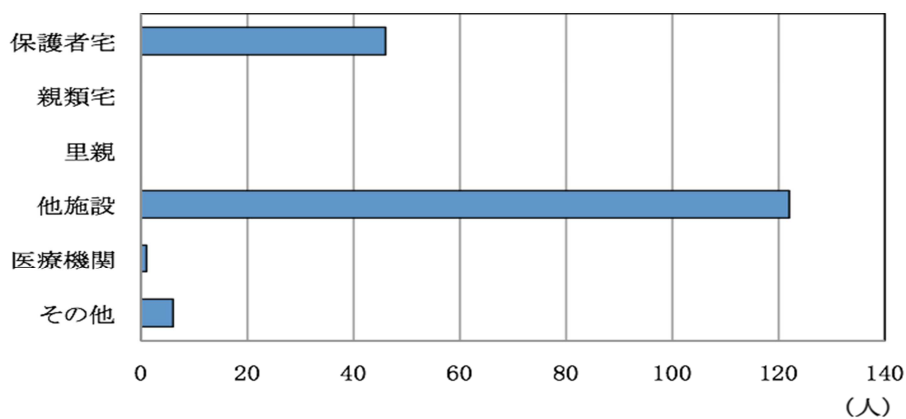


図 2 6 退所予定先